

K A K E G A W A

かけがわ 第37号

市議会 だより

平成24年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
☎0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



大浜中学校区における学園化構想への取り組み
千浜保育園・千浜幼稚園・千浜小学校 プールで交流会

おもな内容	CONTENTS
● 6月定例会の概要	2 ページ
● 一般質問	4 ページ
● 市内の現地を視察	8 ページ
● 特別委員会を設置	10 ページ
● 傍聴席/9月定例会の予定	12 ページ

6月定例会における議案の審議結果一覧

議案名	議決内容
【予算】 ○平成24年度掛川市一般会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
【決算】 ○平成23年度掛川市病院事業会計決算の認定について	賛成多数認定
○平成23年度掛川市水道事業会計決算の認定について	賛成多数認定
【条例】 ○掛川市火災予防条例の一部改正について	全会一致可決
【一般】 ○公共下水道掛川浄化センター第3期建設工事(機械設備等)委託契約の締結について	全会一致可決
○公共下水道掛川浄化センター第3期建設工事変更委託契約の締結について	全会一致可決
○大浜中学校校舎耐震補強工事請負契約の締結について	全会一致可決
○(仮称)南部体育館造成工事請負契約の締結について	全会一致可決
○掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
○掛川市道路線の認定について	全会一致可決
○掛川市道路線の変更について	全会一致可決
【報告】 ○平成23年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について	全会一致受理
○平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	全会一致受理
○掛川市病院事業会計資金不足比率の報告について	全会一致受理
○掛川市水道事業会計資金不足比率の報告について	全会一致受理
【請願】 ○消費税増税法案に関する意見書採択の請願書	継続審査
【陳情】 ○最低賃金法の見直しと最低賃金の大幅引き上げを求める意見書の提出を求める陳情	全会一致不採択

6月定例会の経過

- 12日 本会議 平成二十三年企業会計決算、平成二十四年度一般会計補正予算等各議案の市長提案理由説明、監査委員の決算審査説明
- 21日 本会議 一般質問
- 22日 本会議 一般質問
- 25日 本会議 議案一部採決。議案常任委員会付託。企業会計決算特別委員会設置付託。常任委員会付託議案審査
- 28日 企業会計決算特別委員会付託議案審査
- 7月 5日 本会議 決算特別委員会常任委員会委員長報告、討論、採決。



企業会計決算特別委員会が6月28日に開催されました

平成23年度病院・水道事業会計とも慎重に審議され、7月5日の本会議において認定されました。

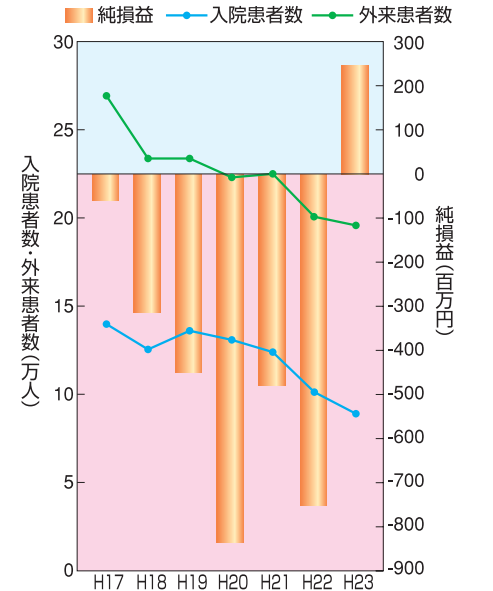
病院事業会計

健全な病院経営をめざして

経営収支は、資金不足額の解消等を目的に一般会計からの負担金交付金が大幅に増額されたことや不要となった資産の売却を進めたこと等により、事業収益80億9,607万円に対し費用は78億3,832万円で差し引き2億5,774万円の純利益で8年ぶりの黒字決算となり、累積赤字(欠損金)は25億7,069万円となりました。

- Q** 掛川市立総合病院において、全体の医薬品の中で後発医薬品は何パーセントくらい使っているか？
- A** 院内で処方している医薬品の内、およそ10パーセントを使用している。
- Q** 平成23年度決算では、収益的収支へ11億9,700万円、資本的収支へ12億8,000万円の合計24億8,000万円が繰り入れられているが経営への影響はどうか？
- A** 平成22年度に見込んだ閉院に伴う清算額よりも、概ね2億3,300万円ほど減らせると想定している。
- Q** 7対1の看護体制ができたが、なぜ今までできなかったのか？
- A** 7対1体制については、患者数が減ったことと、意識改革により業務を見直してできた。診療のあり方を効率的に行えば大部分が経営改善になる。無理しないで同じ方向を向いて、努力してもらうように続けていきたい。そのことで良質な医療が提供でき、経営もいい方向に向かっていくと思う。

年間患者数及び純損益の推移



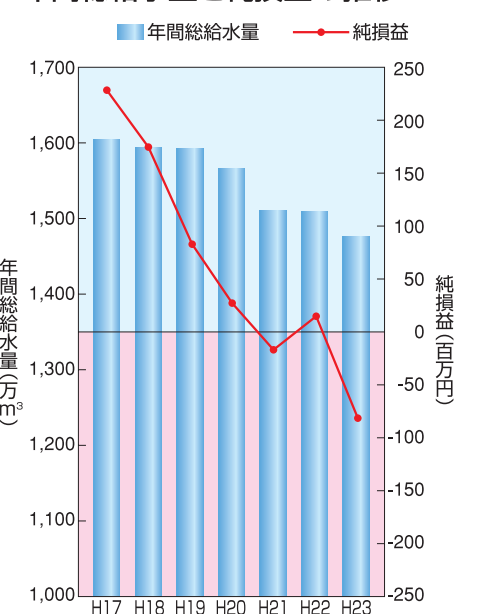
水道事業会計

給水量減少が経営を圧迫

経済活動の停滞・節水意識の向上等による給水量の大幅な減少により、事業収益は26億5,490万円、費用は27億3,804万円で、差し引き8,314万円の純損失となり厳しい決算となりました。これは、新市になって、21年度に次ぐ2度目の赤字決算となります。

- Q** 給水量減少が経営を圧迫しているが、今後の見通しは？
- A** 給水量減少の要因としては、節水意識の高揚・節水型給水機器の普及・漏水防止対策等が考えられる。今後、住宅団地の開発・工業団地への企業進出が計画されており水需要の増加が見込まれるので、コストの削減とあわせて水道料金の値上げにならないよう努力する。
- Q** 繰上償還の実施により経費の節減はできないか？
- A** 通常の企業債の繰上償還は、利息分として補償金を払わなくてはならない。現在、利率5%以上のものは補償金を払わなくてもよいことが認められており、該当するものは21年度までに処理を終えている。
- Q** 未収金が増加しているが、収納状況及び対策を伺う。
- A** 過去5年間の未収金は3月末で8,457万円になるが、そのうち約80%は23年度分であり、収納不能欠損に至るものは0.1%程度である。収納対策としては、未納者には、滞納3ヶ月目に給水停止事前通知を送り収納率向上に努めている。

年間総給水量と純損益の推移





一般質問 Q&A



全国の原発50基の現状
(H24.6.17中日新聞掲載)

掛川区域での幼保園の評価と「掛川市乳幼児教育振興計画策定に向けての提言」を尊重し、本年度「庁内検討委員会」を設置し、課題解決に向けて取り組んでいく。

Q 幼保一元化の課題として、定数見直し、公立の保育料の格差問題がある。保育園入園基準と雇用のミスマッチが生じ求職の足かせとなっている。改善をすべきたが見解を伺う。

A 「掛川市乳幼児教育振興計画策定庁内検討委員会」で検討していきたい

幼保園一元化の課題解決の方針を問う



創造みらい
親原 通 泰

「原子力安全技術研究所」設置の意義と再稼働の判断材料は何か

Q 浜岡原子力発電所構内に、研究所が設置されるが市長の評価とその意義や求める研究テーマは何か。また再稼働判断の判断基準を伺う。

A 将来にわたり安全・安心が確保されなければ再稼働は認められない

研究所の設置については評価をしている。研究開発テーマは現在詳細が不明だが、関心が高いのは放射性廃棄物処理とその処分技術に関する開発である。また、研究所では原子力のみならず、太陽光発電施設や洋上風力発電等の再生可能エネルギーの開発についても取り組んでもらいたい。



一般質問 Q&A



大型車の往来が激しい農道
(岩井寺交差点付近)

本路線が土地改良財産であるため、平成二十五年度予定の事後評価を終えなければ、県との改築協議ができない。事後評価後直ちに協議開始について伺う。

Q 開通以来五年を経た上内田・高瀬線農道は、一般道路としては、未熟で大型車の通行には耐えきれない。改めて、南北幹線道路としての改良には、事業の再評価が期待されている。その見通しについて伺う。

A 円滑な交通を図るため、農道の改善が必要だと考えている

南北幹線上内田・高瀬間のルート整備計画は



創世会
鈴木 久 男

始ができるよう、改善内容の検討や、関係機関との協議を着実に進めているところである。

Q 市民憲章や生涯学習都市宣言には、報徳の教えが基本とされている。今後市民力を高めるため報徳学の伝承と実践をどのように進めるのか伺う。

A 大日本報徳社と二緒に報徳の教えの普及に取り組んでいる

報徳の教えは現在掛川市が制定を進めている「自治基本条例」で謳われている自立と共生によるまちづくりについても、分度や推譲の考え方となるところがある。今後も報徳社の取り組みや教えを活かした協働によるまちづくりを進めながら、より多くの市民に報徳の教えを伝えていきたい。

【他の質問事項】
・沿岸域の津波対策について

福島原発の事故原因究明なしに再稼働は許されるのか



共産党掛川市議団
川瀬 守 弘

Q 免震事務棟建設・フイルター付ベント設置は3、4年後の計画である。地震・津波の学問的知見の根本的見直しを求められ、活断層再調査・評価が必要である。放射能被害の予測や住民避難計画ができていない。またもな原子力規制機関がない。これで大飯原発の再稼働は許されるのか伺う。

A 政府の再稼働の決定は拙速と考える

福島第二原発事故の検証、南海トラフ巨大地震の新たな想定を踏まえた安全対策が終了

し、将来にわたり安全安心が確保されなければ再稼働は認められない。

Q 「空き家対策条例」制定自治体が増えてきたが

A 条例制定が有効な方策となるか調査研究を進めたい

まずは市内における老朽放置家屋の実態を調査し、市民生活や地域社会への影響について整理したい。条例制定については、「市民が安全で安心して暮らせるまち」を推進するため調査研究を進めていく。

【他の質問事項】
・核兵器廃絶と平和教育について
・防災に強いまちづくりについて
・高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について



浜岡原子力防災センター

第十三回 静岡県市町対抗駅伝大会に かける市長の思いは



創造みらい
中上 禮 一

Q 市長に就任した二十一年度は二十五位、翌年は二十一位、そして昨年は二十五位であった。四年目の今年度は強化コーチを迎えるなど強い決意が伺われる。掛川市の活力である「チーム掛川」に望むものは何か伺う。

A 心をついにし、市民の代表として力一杯走り抜き、タスキを引き継いでいただきたい

十二万都市にふさわしい成績を目指して努力し、成績を向上させることにより、市民の皆様は、これまで以上に

を持つていただくことで、目標に掲げる「健康医療日本一」に繋がるスポーツ人口の増加を期待している。

学校司書の増員計画は

Q 本市では、現在四名の学校司書が三十一校を巡回指導しているため、学校図書館の活用が十分とは言えない。採用を工夫すれば全校配置も可能と思われるがいかがか。

A 財政面を勘案しながら、充実を図るよう検討していく

平成二十四年度については、人数は増えていないが、学校図書館支援室司書の勤務日数を増やし、学校図書館支援の充実に努めている。

【他の質問事項】
・日の本一の掛川城茶会の評価と今後の取り組みについて



第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会

議会運営経費の削減

議会費265万円を減額

議会の歳出削減については、これまでも議員定数を30名から6名減員し24名に改めたことや、政務調査費の支給額を当面の間、議員一人当たり月額30,000円から25,000円とするなどの改革を行ってきました。厳しい財政状況や、市長をはじめとして当局においても給与、手当等のカットが行われていることを考慮し、議会としてもなお歳出の削減のための努力が必要との見地に立ち、6月議会において議会費の減額補正を行いました。

1 費用弁償の廃止(165万円減額)

(掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を可決)

第5条第3項に規定された本会議、委員会等に出席した際に支給される月額1,500円の費用弁償について本年6月から廃止します。

2 議員研修費の執行停止(100万円減額)

(掛川市議会議員研修補助金)

市議会議員の国際的視野を広めるため、及び姉妹都市等に対する識見や、国内外の行財政制度、まちづくり等に関し議員研修を行う者に対し、予算の範囲内において、補助金を交付するものとしていましたが、本年度の執行を停止します。



定例会の一般質問という機会を市長はどう受けとめるか



創世会 草賀 章 吉

Q 政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとつて一般質問は意義のある発言の場であり、住民からも関心と期待を持たれる大事な議員活動の場である。市長はどのように受けとめているか。

A 地域の課題解決や各種の政策に取り組み、上で、大変貴重な発言の場であると言っている。



6月定例会 一般質問(再質問)

一般質問の意義は、議員が政策課題について、執行機関に対し、所見を求め、疑義をたずね、大変重要な発言の場である。議員の皆様からの質問提案は職員一同真摯に受けとめ、財政や人事、諸制度等も勘案し、可能な限り前向きに検討している。

高齢者の社会参加と健康長寿社会づくりについて伺う



創世会 草賀 章 吉

Q 県は、健康長寿社会を旨とし生活改善プログラム開発に取り組みとしている。運動や生活指導に加えて町内会での活動やボランティア参加、文化芸術活動など社会参加を勧めている。健康長寿の秘訣を伺う。

A 高齢者の働ける場を確保し、社会貢献できる環境整備の二つとして、コミュニティビジネスの研究を進めている。

①栄養バランスのとれた食事と一日十杯のお茶を飲む
②適度な運動と規則正しい生活
③よく笑いよく話をして、くよくよしないこと
④社会貢献活動ができる限り続けること
の以上四点が、健康長寿の秘訣であると思う。

【他の質問事項】
・ 中心市街地の活性化について
・ 東遠地区消防救急広域化について

市税・国保税の収納欠損が増加しているが



誠和会 大庭 博 雄

Q 収納不能として欠損処理する金額が、年々著しく増加して二十三年度約一億七千万円(見込み額)になった。行政の経営効率を向上するため、減少させなくてはならないと考える。この理由と対策を伺う。

A 機構改革により納税課として職員の専門性を求める組織として強化を図っている。

景気が低迷する現状では、不納欠損額が一時的に増加することは、不可避な状況と考えるが、今後もより一層、未



中学校区学園化構想が進む城東中学校

税金対策に取り組み、自主財源の確保を図っていききたい。

中学校区学園化構想は

Q 学園化構想は、二十三年度から全市に展開することになっている。この構想の目指すところ、現在の進捗状況及び推進上の課題を伺う。

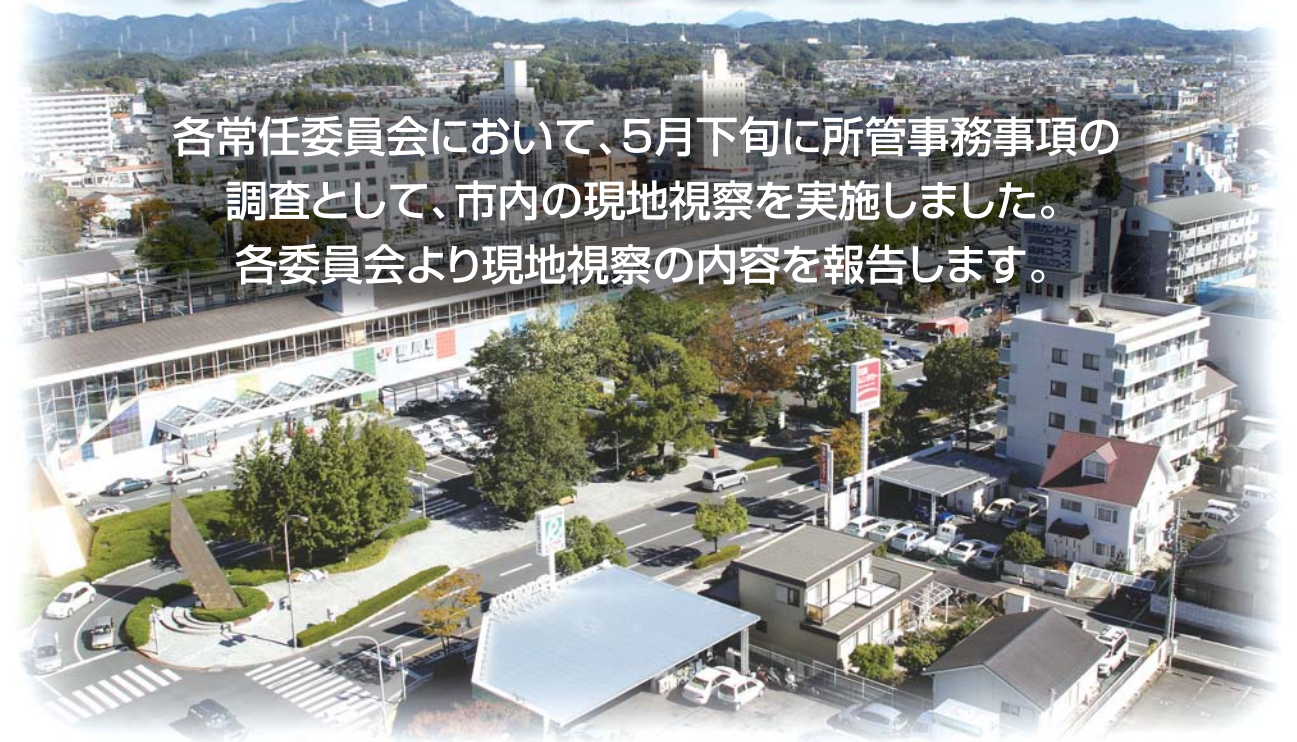
A 学校・地域が相互に信頼しあい共に子どもを育てていく事業でありその成果に期待している。

城東中学校区を指定校とし、「子ども育成支援協議会」を設置し、支援活動を進めている。地域コーディネータの人選や経費などの課題はあるが、平成二十五年末には、どの中学校区においても協議会の準備をし、この取り組みがより地域に根ざしたものとなるよう、積極的に働きかけていきたい。

【他の質問事項】
・ 健康長寿について

市内の現地を視察

各常任委員会において、5月下旬に所管事務事項の調査として、市内の現地視察を実施しました。各委員会より現地視察の内容を報告します。



環境産業委員会

所管事項
環境経済部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項

- 〔視察箇所〕
- 掛川浄化センター(長谷)
 - 新病院建設周辺道路整備(長谷・下俣・高御所)
 - 新病院隣接企業用地(長谷)
 - 大須浄化センター(沖之須)
 - 大淵ハイライン(大淵)
 - 新井最終処分場(大淵)
 - 風力発電(大東総合運動場内)(国安)
 - 大東マリーナ(国安)
 - 大東温泉シフトピア(国安)
 - 南北道路都市計画道路海洋公園線(国浜)
 - 南北道路市道入山瀬線(入山瀬)
 - 東遠地区聖苑(菊川市西方)
 - 環境資源ギャラリー(満水)
 - 新エコポリス第一期工業団地(満水)
 - 逆川農地整備(逆川・蘭ヶ谷)

新病院建設周辺道路や掛川浄化センター、東遠地区聖苑火葬場建設、南北道路市道入山瀬線などは、市民生活に欠かせない重要な事業です。さらに、掛川発展のため必要な新エコポリス工業団地など視察いたしました。

当委員会ではこれらの事業を通し「住みよい街・住みたい街」を目指し取り組んでいきます。

環境産業委員長 鈴木正治



南北道路 市道入山瀬線



都市計画道路 海洋公園線

総務委員会

所管事項
総務部、企画政策部、危機管理部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び水道部の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

- 〔視察箇所〕
- 新病院建設現場(豊浦ヶ池)
 - 新病院モデルルーム(杉谷南)
 - 南郷地域生涯学習センター(上張)
 - 浮世絵美術館(白坂)
 - 藤森工業(株)の屋上避難施設と外階段(菊浜)
 - (株)キャタラーの津波避難地(千浜)
 - 津波避難施設建設予定地(今沢)
 - (仮称)南部体育館建設予定地(大淵)
 - 南北道路市道入山瀬線(入山瀬)

新病院建設工事の順調な進捗状況をはじめ、東日本大震災の教訓を踏まえ、南部地域の津波避難施設の建設予定地、企業の津波避難施設整備など、現地調査を行いました。

災害に強いまちづくり、南北道の整備促進など、厳しい財政の中、行革の推進を図り、委員・当局との共通認識のもと、山積する諸課題に積極的に取り組む必要性を強く感じました。

総務委員長 松井俊二

文教厚生委員会

所管事項
健康福祉部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項

- 〔視察箇所〕
- 新病院モデルルーム(杉谷南)
 - 大坂小学校外階段設置工事場所(大坂)
 - (仮称)南部体育館建設予定地(大淵)
 - 中央小学校外国語活動の取り組み(下俣)
 - さかがわ幼稚園(伊達方)
 - 曾我小学校耐震補強工事場所(領家)
 - 特別養護老人ホームかけがわ苑(大池)
 - 原田ふくし館(原里)
 - 城北小学校第二児童保育所(御所原)

文教厚生委員会では、新病院建設が推進され勇壮な姿を現す中、現地視察を新病院モデルルームから行いました。質の高い医療の提供と地域救急医療体制の核となる病院、災害に強い病院を期待します。また、子供から高齢者まで、健康・医療・福祉・教育と幅広い分野を所管する委員会として現場を直視し、市民の付託に添った活動をしていきます。

文教厚生委員長 豊田勝義



さかがわ幼稚園



大坂小学校



(株)キャタラー津波避難地



藤森工業(株)屋上避難施設

議会基本条例制定特別委員会

議会のあり方、役割等の基本原則を定める条例についての調査、研究を行っていくため、昨年の5月の臨時会において設置されました。本年度においても、議会基本条例制定に向けて、更なる検討を行うため、全議員を委員とし、継続して調査を行っていきます。

【委員24名(全議員)】

議会基本条例とは

市民と議会との関係、議会と行政の関係、また議会や議員の責務などを定める条例です。

ご案内

市民の皆様との 意見交換会開催 (予定)



「開かれた議会」「市民に親しまれる議会」を目指し、議会及び議員の責務を果たすため「議会基本条例」の制定に向けて、条文案と議会報告会実施要綱案などが作成されています。制定に向けて、市民の皆様への条例へのご意見を伺う意見交換会を開催いたします。

- ◇ **日時** : 9月24日(月) 午後7時30分～
場所 : 掛川市役所 4階会議室
- ◇ **日時** : 9月25日(火) 午後7時30分～
場所 : 掛川市役所 4階会議室
- ◇ **日時** : 9月26日(水) 午後7時30分～
場所 : 大東支所 市民交流センター



特別委員会を 設置しました



特定な事項の審査や調査を行うために設置される委員会を特別委員会といい、それぞれのテーマに基づき、中長期的施策の検討や提言を行います。

今年度は、「新病院建設・地域医療対策特別委員会」(21年度から継続)「議会基本条例制定特別委員会」(23年度から継続)「自治基本条例検討特別委員会」「議会だより編集特別委員会」の四つの特別委員会を設置しました。

以下、各委員会の調査内容を紹介します。

新病院建設・地域医療対策特別委員会

新病院を期限内に建設すべく一部事務組合設立から負担割合やアクセス計画等の課題、病院跡地利用や地域医療のあり方について調査・研究を行っていくため21年度から継続設置されています。

新病院の建設関係や現病院跡地利用及び地域健康医療支援センター「ふくしあ」の今後の整備計画については、継続して調査・検討・協議していく課題等が残っています。

このことから、中東遠地域の住民が必要とする質の高い医療を将来にわたり確保するという究極の目的に向かい引き続き調査研究していきます。

【委員24名(全議員)】

自治基本条例検討特別委員会

まちづくりに関する市民や市議会、市長等の役割と責務、市政運営とまちづくりの基本原則を定める条例について調査・研究を行っていきます。

【委員24名(全議員)】

議会だより編集特別委員会

掛川市議会の活動状況及び議会に関する諸事項を市民にお知らせする「かけがわ市議会だより」の編集・発行作業を行っていきます。

【委員8名】

議 会 日 誌

5月

- 21日 ○市議会全員協議会
- 23日 ○全国市議会議長会定期総会(東京)
○議会だより編集特別委員会
- 24日 ○総務委員会協議会
○環境産業委員会協議会
○文教厚生委員会協議会
- 28日 ○環境産業委員会現地視察
- 29日 ○文教厚生委員会現地視察
- 30日 ○総務委員会現地視察

6月

- 1日 ○静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)
- 4日 ○第9回議会基本条例制定特別委員会
- 5日 ○議会運営委員会
○議員懇談会
- 12日 ~7月5日 ○掛川市議会第3回(6月)定例会
- 14日 ○議会だより編集特別委員会
- 15日 ○自治基本条例検討特別委員会
- 28日 ○新病院建設・地域医療対策特別委員会

7月

- 2日 ○議会基本条例制定特別委員会
- 3日 ○議会だより編集特別委員会
- 9日 ○議会だより編集特別委員会



傍聴席

六月市議会定例会を傍聴させていただきました。

浜岡原子力発電所再稼働、現時点では必要性が高いかもしれませんが、五十年、百年先の事を考えますと、大変不安になります。慎重に議論を願いたいものです。

沿岸域の津波対策等早急にしたい。ただきたいと思えます。福島原子力発電所の放射能漏れ、セシウム検査、お茶、農産物等の風評被害関係者は大変な思いをしています。

平成二十六年度南北道の開通、南部の活性化に期待します。

耕作放棄地、中心市街地空洞化など市政も難題が山積かと思えますが、市民の小さな声にも耳を傾けて、皆が幸せに暮らせる掛川市になりますように願っております。私も何度か議会を傍聴させていただきましたが、緊迫した議場で的一般質問を聞けば、市政への関心が高まるのではないかと思います。今後多くの方に市議会を傍聴していただけるように期待しております。

栗田修夫(板沢)

9月定例会の予定

- 3日 本会議(議案の提案説明)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 19日 一般会計・特別会計決算特別委員会
- 20日 一般会計・特別会計決算特別委員会
- 28日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

編集後記

国内外を問わず混迷する社会情勢下、山積する政治課題の中、議会が担う役割や責任はこれまで以上に重要になっていきます。掛川市議会も「開かれた・親しまれる議会」を目指し「議会基本条例」制定に向けて検討している中、改めて「議会だより」の果たす役割の重さを認識しております。本年度の八名の委員で心を込めて編集し発行して参ります。皆様方のご意見もいただきながら「議会だより」が、市民の皆様と議会との絆の役割を果たせたらと願っております。

議会だより
編集特別委員会
委員長 水野 薫



議会だより編集委員(左から)

- 草賀章吉 委員
- 鈴木久男 委員
- 大庭博雄 委員
- 水野 薫 委員長
- 山本行男 副委員長
- 川瀬守弘 委員
- 山崎恒男 委員
- 榛葉正樹 委員